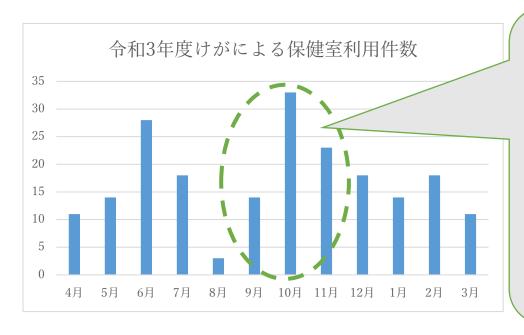
ほけんだより

令和4年9月26日 富士宮第三中学校 保健室 NO.6

毎年白銀祭体育の部の練習が始まる頃から、けがで保健室を利用する人が増えはじめます。放課後の練習もあり、運動をする機会が増えることも理由にありますが、心と体の準備ができていないときに、リレー練習でダッシュ!なんてことから、けがをしてしまうこともあります。練習でけがをしてしまい本番は見学…とならないように、練習前には準備運動をしっかり行い、けがを予防しましょう。練習も本番もあなたの力を発揮してくださいね。



9・10・11月に 多かったけがは、

- ①すり傷
- ②痛み ※
- ③打撲

※…急なダッシュや走っている途中に、太ももやふくらはぎに強い痛みが起きたケース。肉ばなれの疑いです。痛みが強くて歩くのが大変なときは、医療機関の受診をすすめます。

白銀祭体育の部の練習のときは、準備運動をしましょう

~準備運動のメリット~

その1 筋肉がやわらかくなる

筋肉がほぐれ、関節も動きやすくなるので、ねんざなどのけがの予防につながります。

その2 体の調子をチェックする

自分の体調を確認できます。痛みはないかな、しんどくないかな、確認しながら行いましょう。

その3 心の準備をする

少しずつ体を動かすことでアドレナリン量が多くなり、中枢神経を刺激して「さあ、運動を始めるぞ!」という気持ちが整います。

「めんどくさいなぁ」と思わずに、運動を頑張る前にはしっかり行いましょう。









睡眠をしっかりとる サイズのあった靴をはく こまめに水分補給

手足の爪を切る

いざというときのために! RICE

けがをしたらすぐに処置することにより、軽い症状で抑えられ、早く治るようにすることができます。特に運動しているときに手足を打撲したら、してほしいのが RICE です。病院などでみてもらうまでの間に、けがをした部分の傷害を最小限にとどめるために RICE を行うことで、運動へも早く復帰することが可能です。RICE をしなかったり、適切に処置できなかったりした場合、症状が悪化し、完治までに長い時間がかかることがあります。

R:Rest「安静」

安静にして、患部を動かさない ようにします。痛みを感じたら 無理に運動を続けず、すぐに休



I:Icing「冷却」

炎症を抑えたり痛みをとったり するために、患部を氷のうなど で冷やします。



C:Compression「圧迫」

包帯、テーピングなどで患部を軽くおさえます。おさえる力が強すぎると、血の流れが悪くなったり、神経を圧迫したりする恐れがあるので、青くなったりしびれたりしたら力をゆるめましょう。



E:Elevation「挙上」

患部を心臓より高い位置に挙げます。手の場合は三角巾などでつります。足の場合は、横になって足をものの上に乗せます。



アイシングの方法

- ①ビニール袋に氷を入れて、アイスパックを作ります。
- ②患部にアイスパックをあて て、15~20分くらい冷やし て下さい。

※注意点

- ・ 凍傷を起こす恐れがあるの で、絶対に 20 分以上はア イシングしない。
- 冷シップには患部を冷やす 効果はありません。冷シッ プは皮膚から吸収される痛 み止めです。

こんなときは病院へ

- ✓ 腫れがひどい (冷やしながら病院へ行きましょう)
- ▲ 痛みが強い、痛みが続く
- ✓ 打った部分やけがした部分を動かせない
- ✓ 皮膚の色が変わってきた
- ✓ 打撲したところから血が
 たくさん出ている
- ▼ 変形しているのがわかる

ころんですり傷ができたときの手当て

①水道水で傷口をよく洗いましょう。

砂や泥、細かいゴミなどが残らないように丁寧に洗いましょう。

②出血していたら止血する。

清潔なガーゼやハンカチで押さえていると血が止まります。

③傷口を保護する。

ばんそうこうやガーゼ、包帯などで傷口を覆います。

保健室で手当が必要な時は、洗ってから来て下さいね